

# うのき薬局 かわら版

## 市販薬の選び方 ～花粉症編～

2024年の東京の花粉状況は、例年通り2月上旬から飛び始め、飛散量は平年並みか、やや多いとの予想が発表されています。



花粉症の症状は、鼻みず、鼻づまり、くしゃみなどの鼻の症状、目のかゆみや充血などの目の症状があらわれることが多いです。他にも肌荒れ（花粉皮膚炎）や喉の痛み、頭痛などが現れることもあります。花粉症の薬を選ぶ際にはご自身の症状にあわせて選ぶことをお勧めします。わからないときは薬剤師にご相談ください。

### 🍬 内服薬 🍬

商品名(成分名)	特徴	長所	短所
レスタミンコーワ糖衣錠® (ジフェンヒドラミン)	古くから使われており安全性が高い	即効性がある	副作用が強い(眠気、口の乾き、倦怠感など)
アレルビ® (フェキソフェナジン)	現在、医療機関で処方されている主流治療薬	副作用が弱い	即効性があまりない
小青竜湯	眠気が気になる場合によく使われている	眠気がなく、相互作用も少ない	漢方特有の味のため、飲みづらさを感じる方が多い

### 😞 外用薬 😞

症状が軽い場合や、上記内服薬のみでは効果が十分でない場合に併用すると、効果的です



	商品名	使用目的
点眼	ロートアルガードクリアマイルド EX®	目のかゆみ、炎症を鎮める
点鼻	フルナーゼ 点鼻薬®	鼻づまり、鼻水、くしゃみ
塗り薬	ヒルマイルド クリーム®	肌荒れ、抗炎症、保湿、血行促進

市販薬を使用してもなかなか症状が治まらないときや発熱、頭痛、咳、倦怠感、のどの痛みなどがある、鼻づまりがひどくて呼吸が苦しい、熟睡できないようなときは早めに医師の診察を受けましょう。